
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 10月17日～10月23日

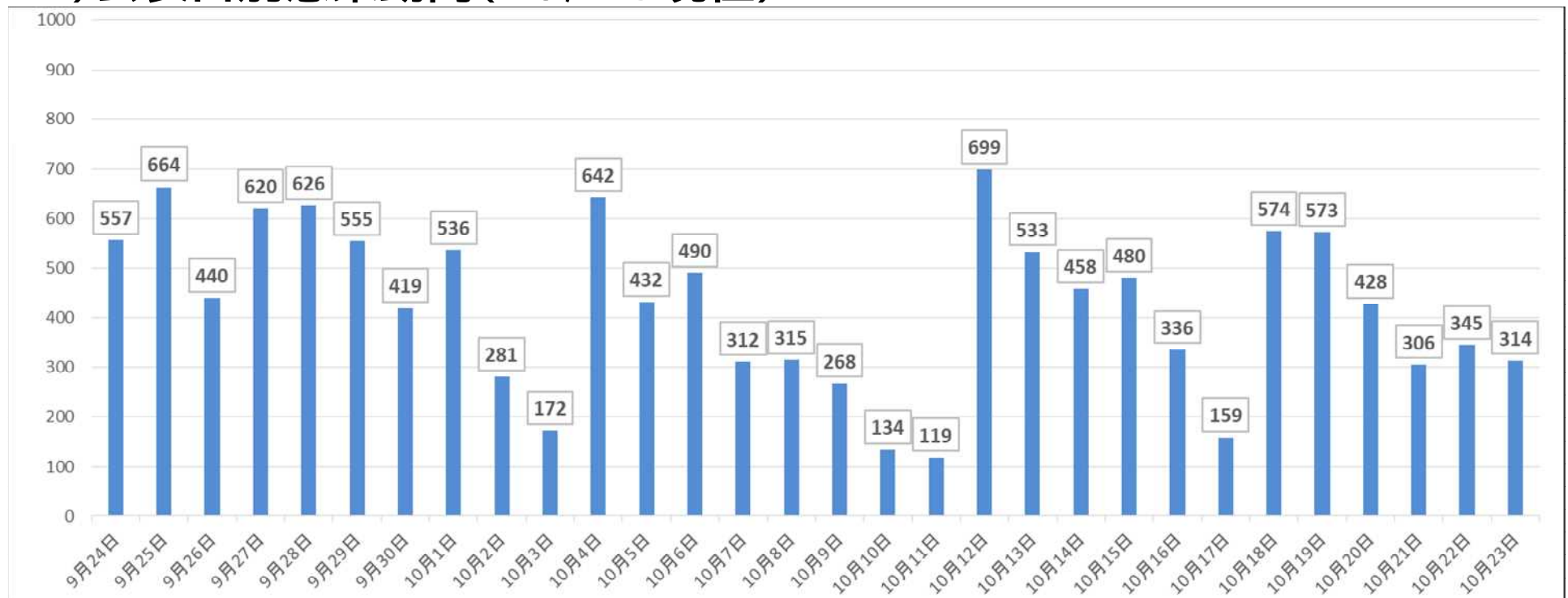
10月25日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

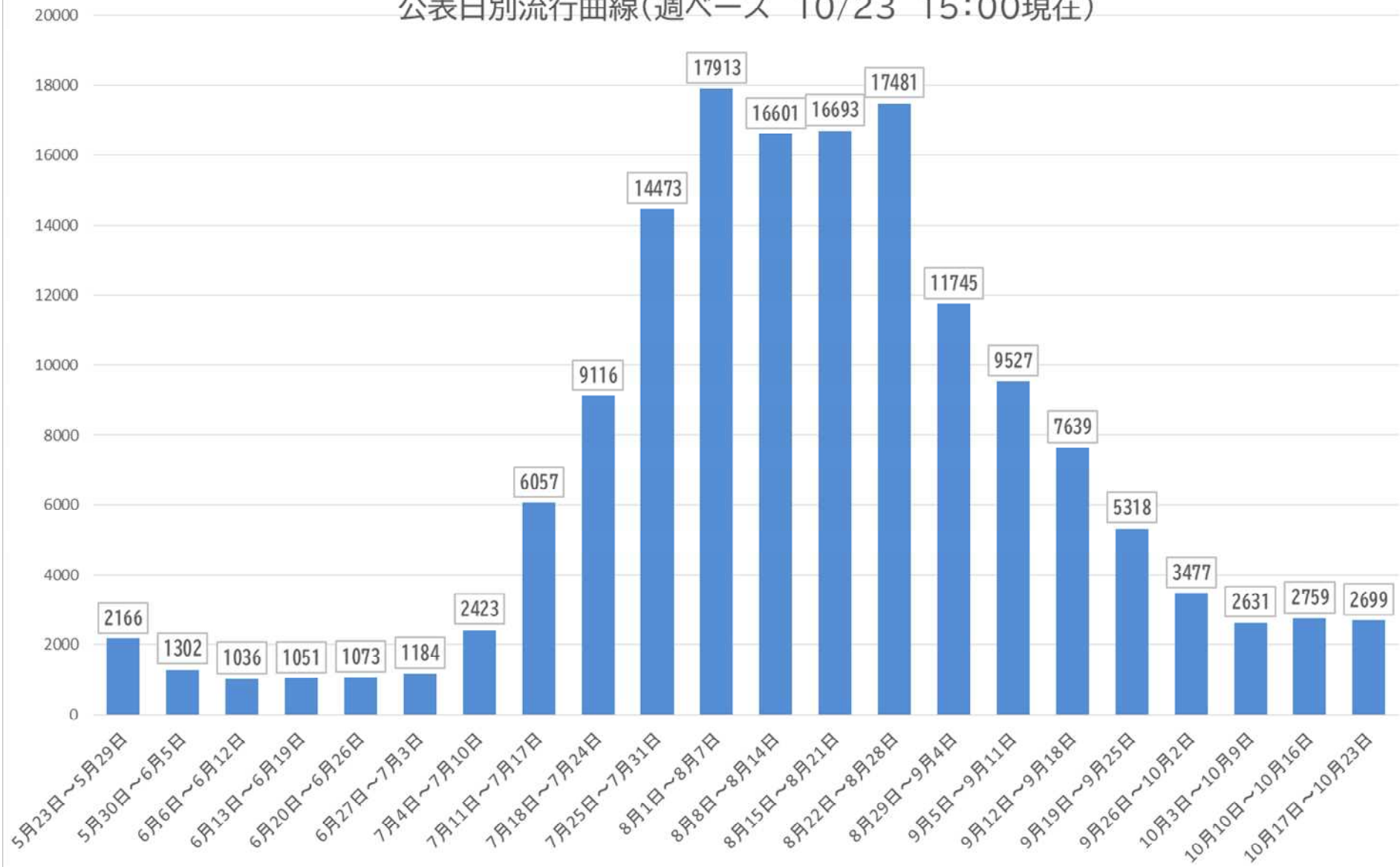
1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(10/17~10/23)	2,699人
累計(10/23現在)	242,530人

2) 公表日別感染動向(10/23現在)

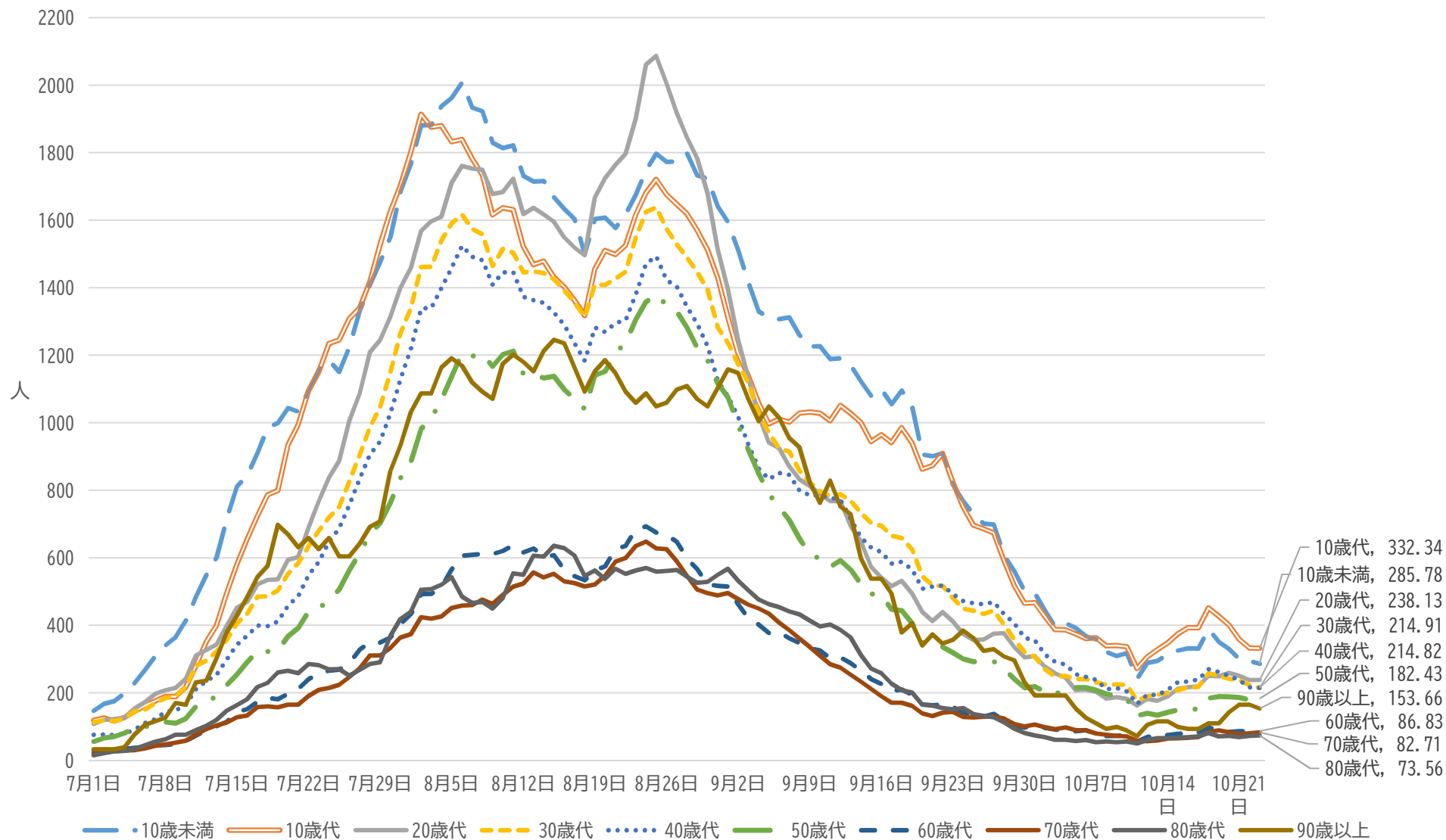


公表日別流行曲線(週ベース 10/23 15:00現在)

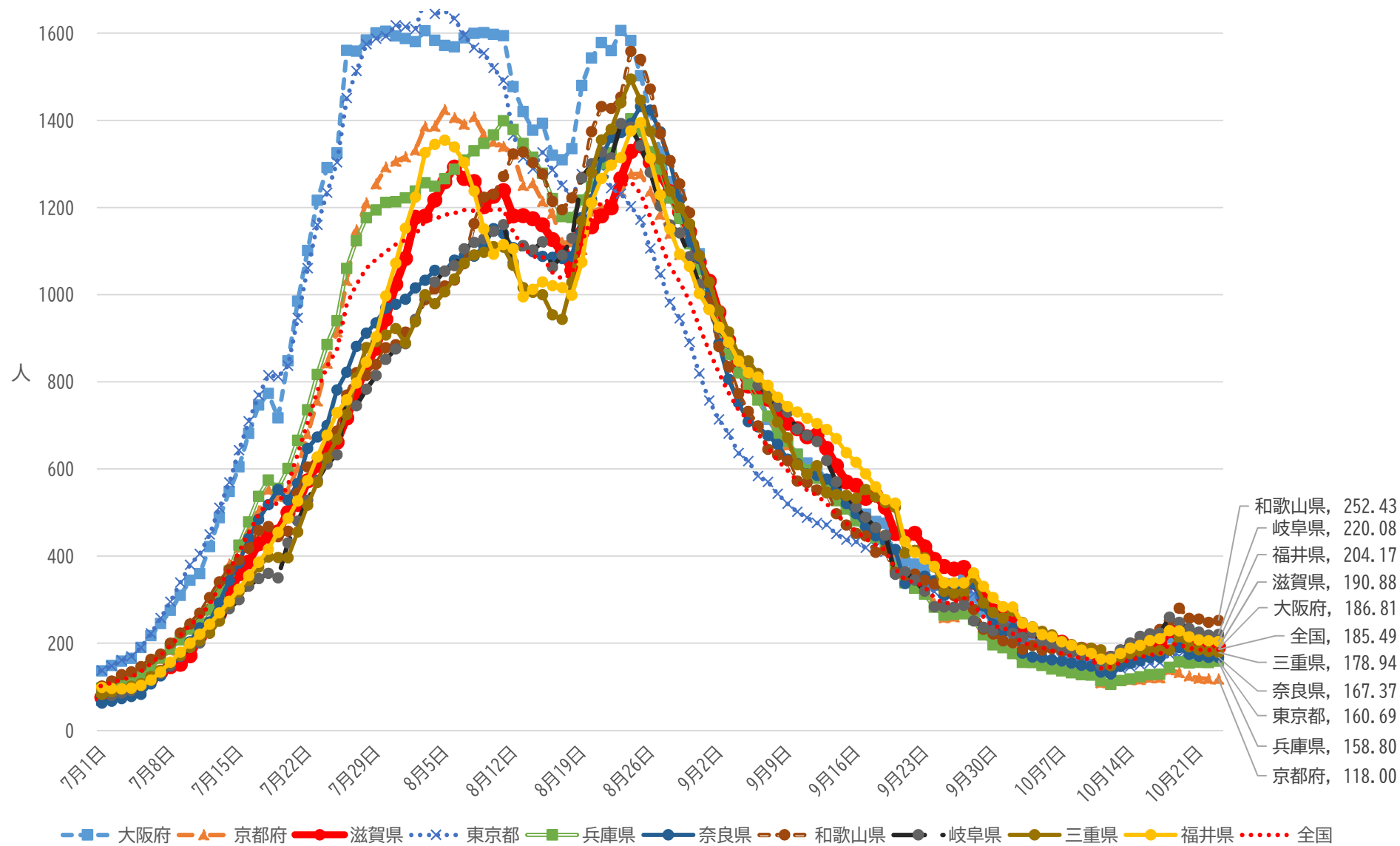


3) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.7/1-10/23)



4) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.7/1-10/23)



2、県内の感染状況・各指標の状況について(10/23現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
412	108	101	7	304

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
631	28	28	0	7	596

2) 県内の陽性者発生状況

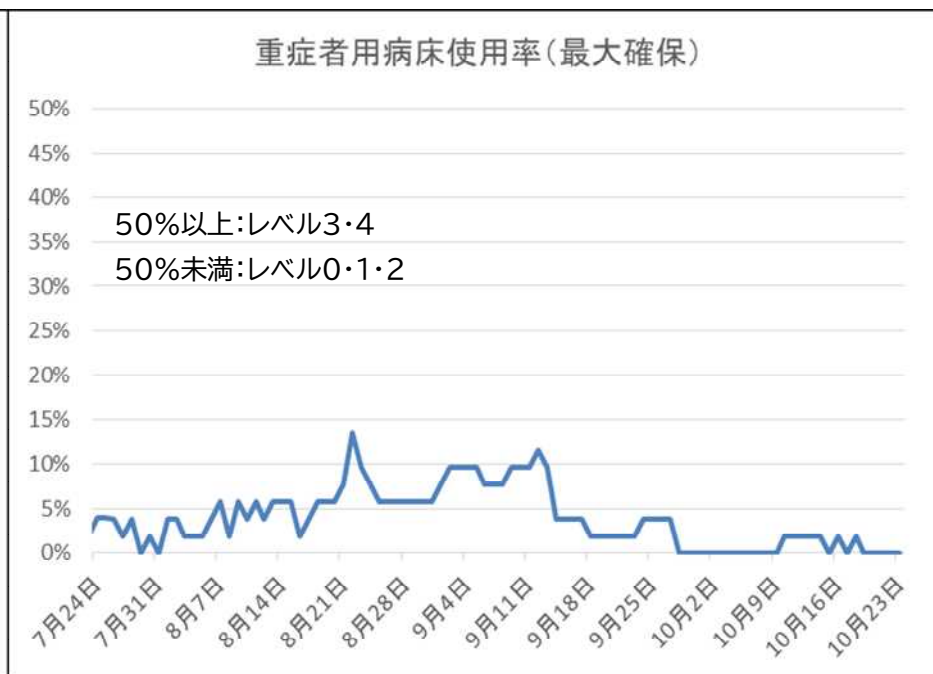
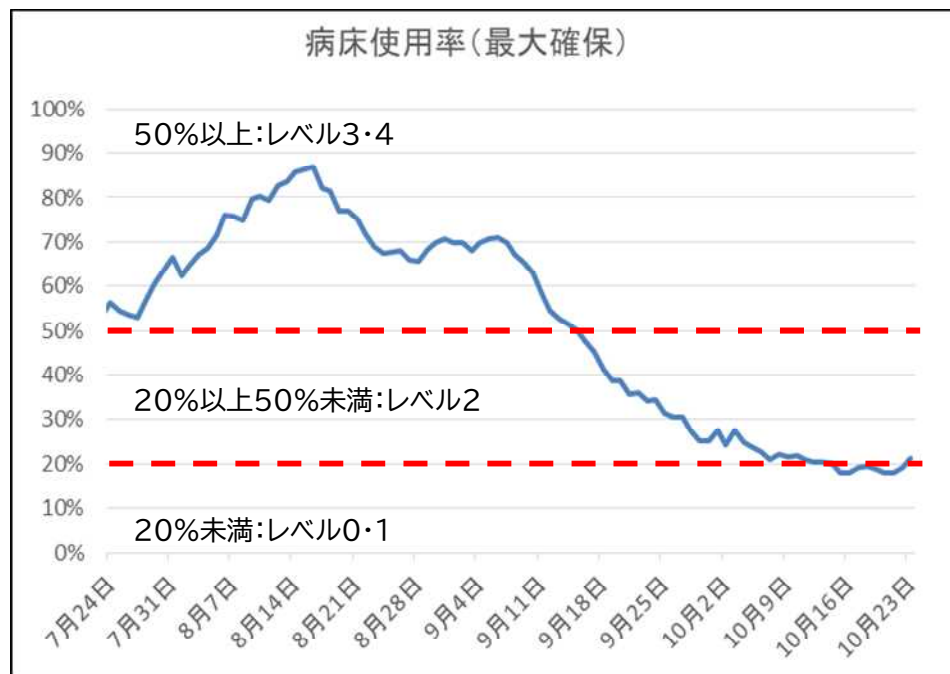
陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
242,530	101	80	21	0	355

重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症：酸素投与が必要

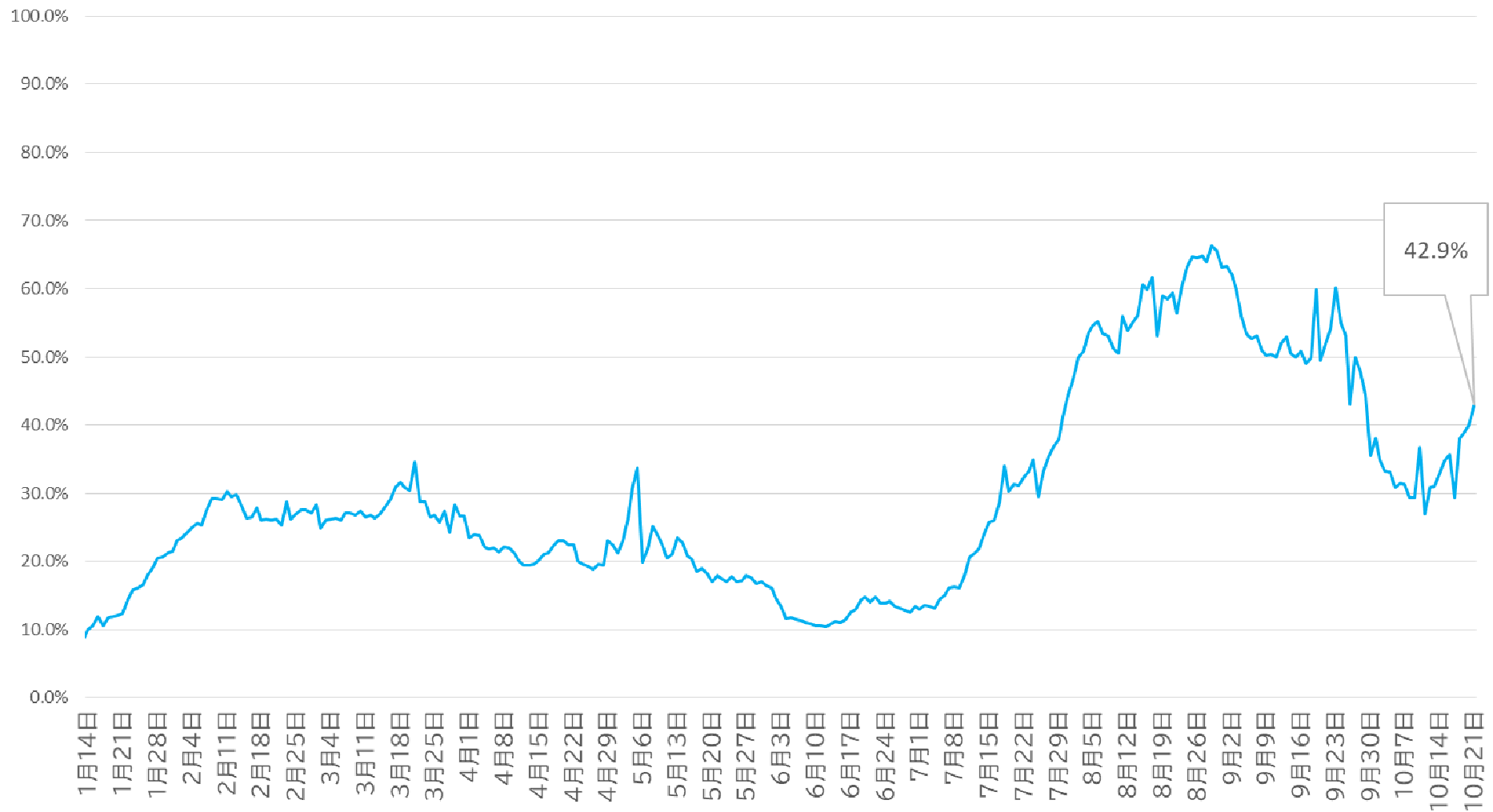
3) 各指標の状況

現時点の確保病床の占有率※1	26.2%	※1 現時点の確保病床の数、412床に対する割合
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	21.2%	※2 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、510床に対する割合
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	0.0%	※3 最大確保病床数(ピーク時に確保予定である病床数)、52床に対する割合
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	190.9人	
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	少ない	※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較して多いか少ないか記載
直近1週間のPCR等陽性率※5	42.9%	※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)
	PCR等検査数(直近1週間分)	6,655件
	PCR検査数(累計)	996,181件

4)各レベル判断指標の推移

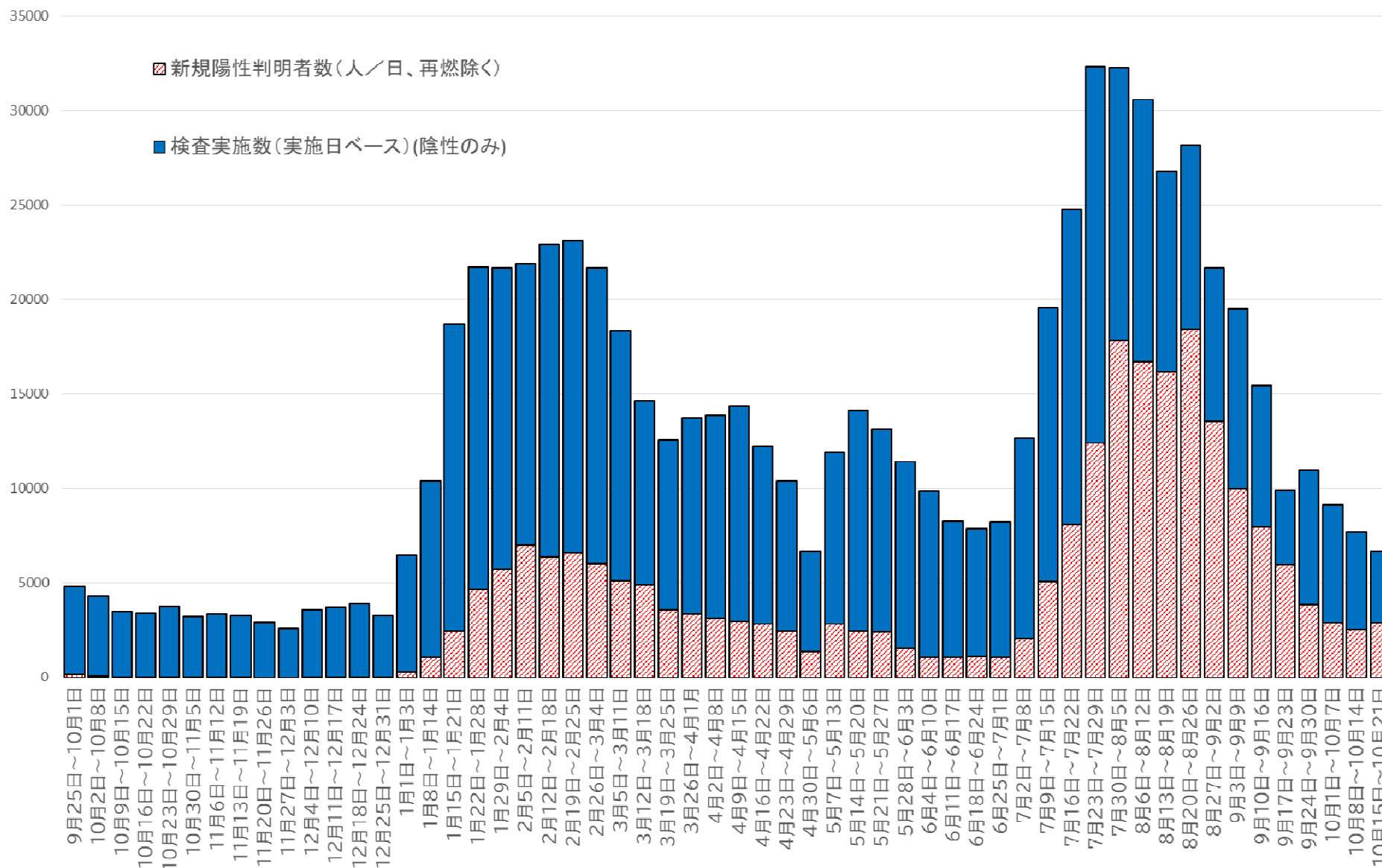


5)陽性率の推移(7日間移動平均)



陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、10月21日現在の陽性率は42.9%でした。※検査実施日ごとの報告件数（抗原検査を含む）に基づく陽性率

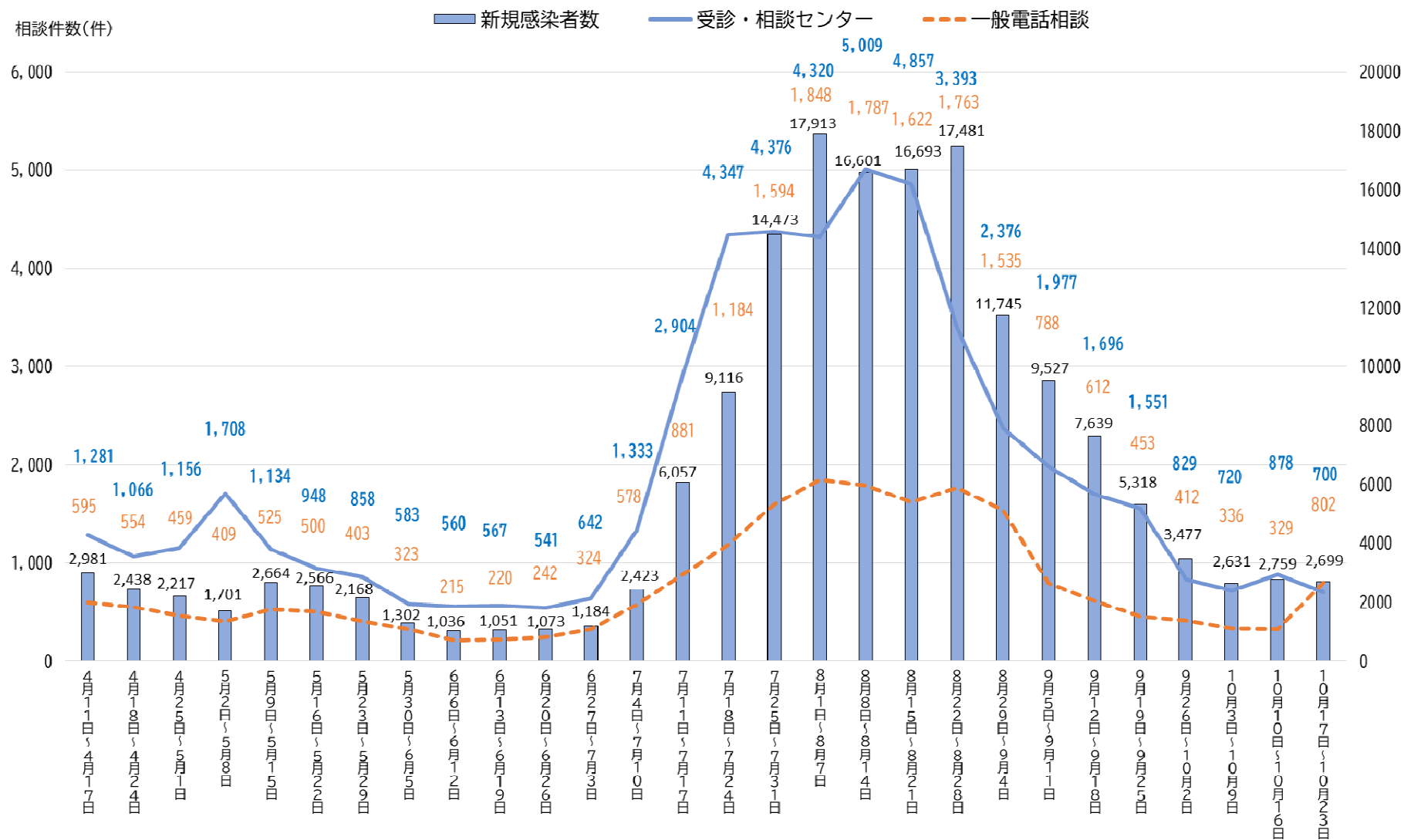
6)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



7)相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



評価(10/17~10/23の感染状況)

- 全国的に、新規陽性者数は下げ止まりの傾向が見られ、横ばいとなっています。
- 本県も同様に下げ止まりの傾向が見られ、10月23日時点で今週先週比は0.98、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は190.9人と横ばいの傾向にあります。年代別では、全ての年代で横ばいとなっています。
- 最大確保病床に対する占有率は10月23日時点で21.2%と20%前後で推移しています。
- 場面に応じたマスク着用、常時換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。特に高齢者等ハイリスクの方との関わりがある方は、より慎重に感染対策を実施するようにしてください。
- 高齢者施設等でクラスターが発生しており、施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 9月下旬からオミクロン株対応ワクチンの接種が始まりました。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、ワクチン接種を進めることも重要です。
- 10月11日から水際対策の緩和、全国旅行支援の実施がされたので、今後の感染動向には注視が必要です。
- 冬期にインフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の先週(10/10~10/16)のインフルエンザ定点報告数は0でした。